



馬の学校

# 馬の学校通信

2017. 9 vol.67

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市長区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : http://www.horseschool.org



## 秋のプログラム 参加者募集!

### ボランティア講習会 (六甲山牧場)

日程 : 11月11日(土) 11時~13時30分

対象 : 馬の学校ボランティア希望者(定員8名)

内容 : 馬についての座学・馬とのコミュニケーションの体験

参加費 : 1人¥3,000(現地集合・解散)

### 馬とのふれあいプログラム (六甲山牧場)

日程 : 11月12日(日) 11時~13時30分

対象 : 3歳~大人(定員6名・ご家族でも参加できます)

内容 : ブラシがけ、馬とお散歩、乗馬、にんじんあげ

ホースショー見学

参加費 : 1人¥4,000(現地集合・解散)

\*上記参加費のほかに、入園料(大人 500円、小学生以上 200円)がかかります。

\*申し込み締切 11月4日(土)

### 馬とのふれあいプログラム (愛知牧場)

日程 : 11月25日(土) 10時~12時

対象 : 年中児~大人(定員8名)

内容 : ブラシがけ、乗馬、馬小屋掃除、にんじんあげ、

参加費 : 1人¥5,000(3歳~小学3年生・ポニー使用)

¥5,500(小学4年生~大人・成馬使用)

場所 : 愛知牧場(日進市米野木町南山977)

\*申し込み締切 11月18日(土)

### 馬とのふれあいプログラム (服部緑地乗馬センター)

日程 : 12月2日(土) 午前8時40分~10時40分

対象 : 3歳~小学2年生(定員6名)

内容 : ブラシがけ、乗馬(ポニーにて引き馬)、馬小屋掃除・

にんじんあげ

参加費 : 1人¥5,000(現地集合・解散)

\*申し込み締切 11月22日(水)

★お申し込みは、会員の方は10月2日(月)から、一般の方は10月4日(水)から、電話、FAX、メールにて事務局まで!

## 夏のプログラム 活動報告

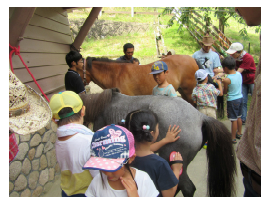
### ミルキーと友達になろう(8/4~7 小須田牧場)

のべ24名の参加があり、ミルキーに草をあげ、背中で遊び、にんじんをあげる中で、みんながミルキーと仲良くなりました。



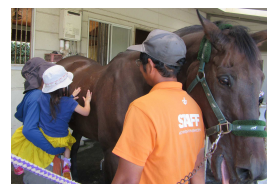
### ブラシがけ&にんじんあげ体験(8/20 六甲山牧場)

当日受付のプログラムで、4回とも定員の10名が集まり、多くの方に体験してもらうことができました。30分という短い時間でも、馬と仲良くなってもらえ、楽しい時間となりました。



### 馬とのふれあいプログラム(9/10 森林公園)

3歳から小学4年生まで6名の参加がありました。乗馬の時間は、合図を出して誘導、輪投げ、速歩体験など、子どもたち自身を選んでもらって、挑戦しました。





## 馬のおもちゃ⑩ 馬のすごろく

ドイツのおもちゃメーカーHABA社の「Hoppe Reiter」(パカパカお馬)。放牧場から馬小屋まで、自分の馬を連れて帰りながら、いろいろな道具(蹄鉄やバケツなど)も集めるゲームです。説明書の「遊び方」に「いちばん最近に馬をなでた人の番から始める」とあり、こんなところにもドイツらしさを感じます。娘はいつも、ぬいぐるみの馬たちと一緒に楽しんでいます。年齢などに応じてルールを変えることができ、長く遊べそうです。日本語の説明書も入っているので安心!



## おすすめの本

『まねっこ ビュンビュン』 福音館書店  
 伊ノロ・ガバ-ル 文 津田紀子 訳  
 バーサンスレン・ポロルマー 絵

『お母さんがビュンビュンと走ると、こうまもまねしてビュンビュンと走ります。お母さんが草をモシャモシャと食べると、こうまもいっしょにモグモグと食べます。』お母さんのまねをして、遊びながら成長するこうまの様子が描かれています。リズムカルな文章と優しい絵で、娘も大好きな絵本です。



## 私の出逢った馬たち(8) シーザー

シーザーは“サフォークパンチ”という品種で、イギリス原産で農耕に長く使われてきた重種。大きな体で、蹄は片手では持ち切れないほどの大きさでした。ファームステイに通い始めたころは、まだ力もなくシーザーの手入れに当たると、裏掘りが本当に大変でした。また体の大きさからは想像できない軽い走りで、駆歩は乗り心地がよく、とっても気持ちよかったです。そんなシーザーにもひとつだけ「弱点」がありました。それは・・・「ひらひらしたものが怖い!」ということ。外乗に行った際に、旗が風になびいているのを見ると、横っ跳びをしていました。

その広い背中と大きなお尻から、ウマキャンプでは長い間、“裸馬体験”のパートナーとして活躍してくれました。小学生なら2人でも余裕で乗ることができました。初めてで、1人で乗るのはちょっと不安に感じている子どもたちでも慣れた子供たちとペアを組むことで、安心して乗ることができました。またお互いに助け合う中で、子ども同士のコミュニケーションも自然と図られるようになっていきます。そして、安定感抜群の背中の上で、子どもたちがいろいろな技に挑戦することを支えてくれました。

そんな頼もしいシーザーは、2010年の春になる前、疝痛(お腹が痛くなる病気)で亡くなりました。その少し前、プライベートで小須田牧場を訪れ、久しぶりにシーザーの手入れをしました。大きな体にブラシをかけ、大きな蹄の裏掘りをし、とても懐かしい気持ちになったのが最後となりました。



## 編集後記 「ミルクィと友達になろう」も今年で3年目。遠くから友達が参加してくれたり、リピーターの方や、ペンション Himawari からご紹介での参加も多く、たくさんの方にミルクィと友達になってもらえました。

ミルクィを真ん中に、子どもから大人まで様々な人たちが笑顔になっていく様子を見られることは、とても嬉しく、楽しい時間でした。娘も張り切ってプログラムに参加し、見本になってくれることもありました。自分の思い通りにいかずに泣く場面もありましたが、自分なりに気持ちを切り替えて頑張っていました。

この秋は、愛知牧場ででのプログラムもスタートできることになりました。ポニーと成馬(大きな馬)を使用するため、子どもから大人まで、ご家族でもご参加いただけます。馬を通した「人」との出逢いの中で、プログラムが豊かになっていると改めて感じます。(峯崎 友香理)

